

事業承継・引継ぎ支援センターの支援ストーリー

第29話 ひと匙の勇氣

第三者承継が拓いた夢のかたち

第三者承継
(後継者人材バンク)

SOUPHOLIC
(秋田県秋田市)



秋田市で愛されてきた小さなスープ店。
売上の不安、飲食未経験の悩み……。
それでも挑戦を選んだひとりの女性の奮闘記。

第30話 守る味、広がる道

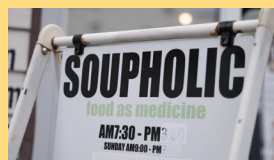
伝統の味×サプライチェーン×地域未来

花ぐすく香華堂
(沖縄県那覇市)

第三者承継



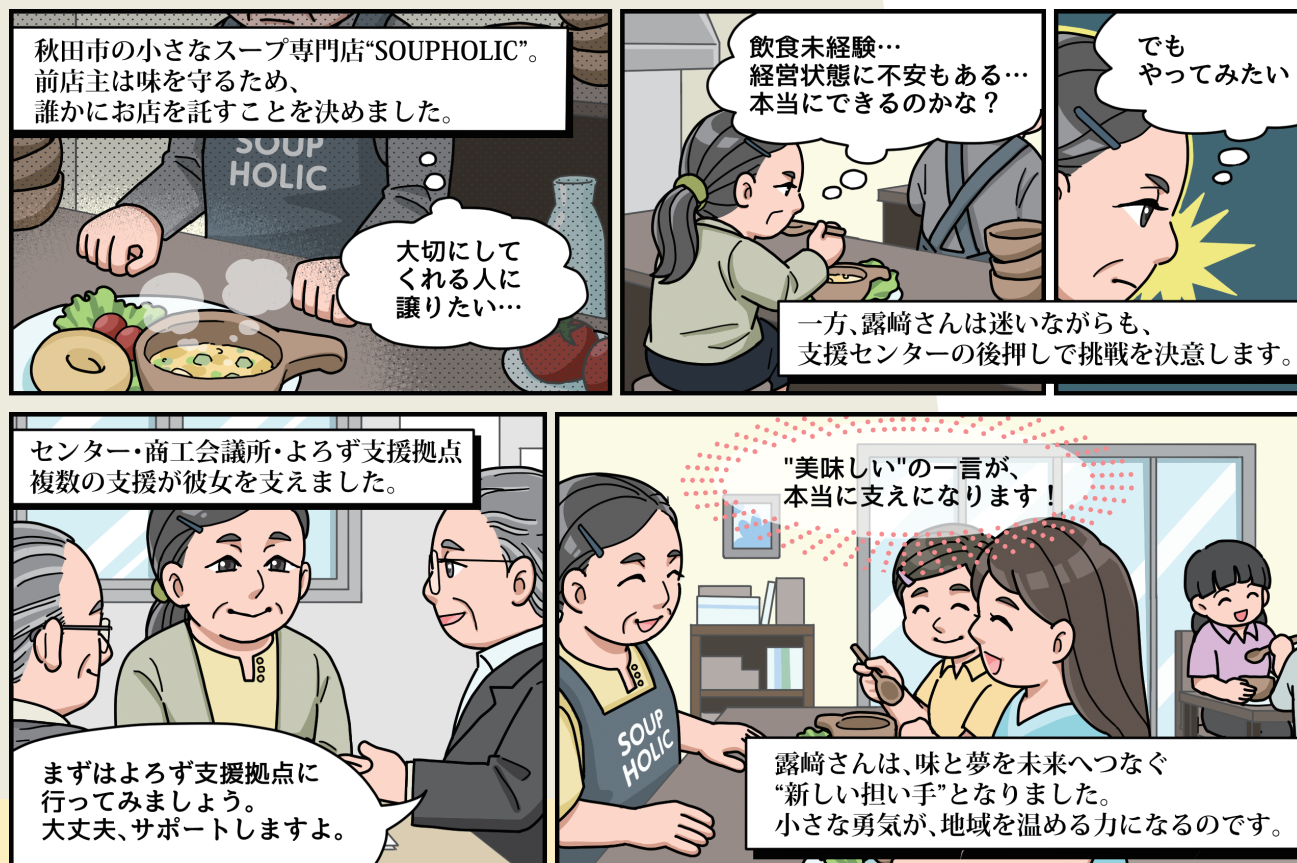
沖縄の食卓や行事を支えてきた老舗惣菜店。
伝統の味を守りながら、新しい挑戦へ。
地域の未来をひらく事業承継。



飲食業 | SOUPHOLIC

- 創業:2014(平成26)年
○所在地:秋田県秋田市中通6-9-10-C
○TEL:018-834-7700

秋田市民市場近くにあるスープ専門店。前経営者が別店舗に専念するにあたり譲渡を希望。飲食店経営を夢に抱いていた女性の公務員からの転身による第三者承継。



秋田県事業承継・引継ぎ支援センターの支援概要と事業承継の流れ

事業承継の流れ

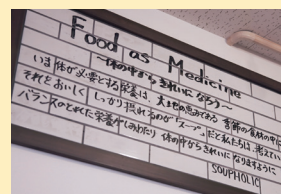
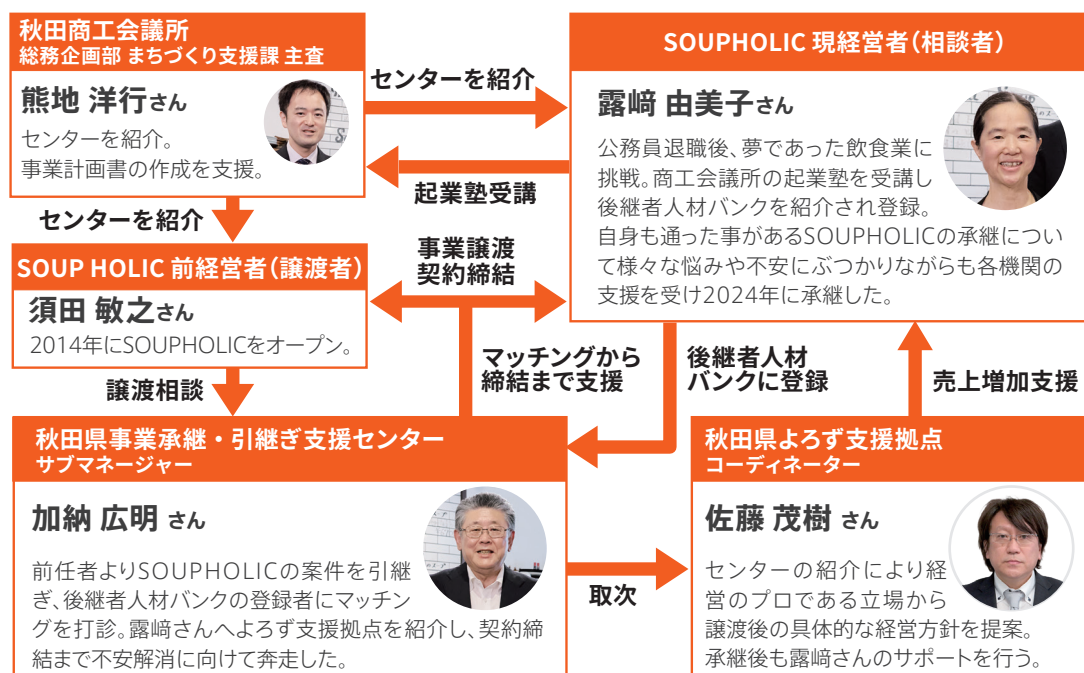
現経営者が商工会議所の
起業塾に参加

商工会議所の紹介で
後継者人材バンクへ登録

センターがマッチング、事業承継支援
よろず支援拠点へ取次

よらず支援拠点が売上増加など
経営アドバイス

事業の引継ぎが完了



スープは健康食。
その魅力を広めて欲しい

譲渡者 須田 敏之さん



お客さんも従業員も
笑顔で居られるお店に

譲受者 露崎 由美子さん



転機 不安だらけの未経験業界

公務員をしていた露崎さん(現経営者)は「飲食店をやりたい」というのが幼いころからの夢。しかし、なにもかもが未経験で不安でいっぱいだった。秋田県事業承継・引継ぎ支援センター(以下センター)の後継者人材バンクに登録し、興味を惹かれたのが秋田市民市場目の前にある「SOUPHOLIC」だ。



不安 飲食も経営も未経験

未経験ながらスープの魅力に惹かれた露崎さんだが、SOUPHOLICには客として通っており、「ここが秋田にあるならスープは止めようと思った」と語るほど良いお店だとも思っていた。しかし、当時のSOUPHOLICは収支が厳しめの経営状況で「飲食も経営も未経験な自分が承継してやっていけるか?」という迷いや不安は尽きなかった。

支援 不安は各機関の協力で解消

別店舗の経営に専念する為、須田さん(前経営者)からセンターへ事業譲渡の相談があったのは2023年。前任者から案件を引継いだセンターの加納さんは後継者人材バンクの登録者にマッチングを打診。5名の候補者の内、一番関心が高かったのが露崎さんだった。しかし、当時の経営状態は露崎さんの不安を払拭できる状態ではなく、加納さんは経営のプロであるよろず支援拠点へ相談する事を提案した。

須田さんと露崎さんの事業譲渡のマッチングが行われ、契約締結に向けて動き出した。経営の不安要素を改善する為、よろず支援拠点の佐藤さんはフードコーディネーターを交えてメニュー開発を行う他、地元農家との橋渡し、店舗オペレーションや集客についても各スペシャリストを招集する等、多方面から支援を行った。

加納さんは事業譲渡契約締結のギリギリまで根気強く伴走支援をする事で不安の払拭に努めた。「途中何度も（事業譲受を）止めるという判断もあると伝えました」と、当時を振り返る。

あとは走るしかない！

承継前には半年ほどかけて須田さんからレシピやオペレーションなど基本的な事は教わり、方々からのアドバイスも受けていたが、まだ不安でいっぱいであった。しかし、「迷っていても始まらない!走るしかない!」と奮起し2024年4月に承継を完了。

オペレーションを見直し、よりスープに特化したメニューへと変更した。その甲斐あって常連さんが増え、走り続けることができた1年だった。「今後はもっと生産者の方々とつながって良い野菜を取り込んだり、お客さんも従業員も笑顔でいられるお店にしたい」と露崎さんは語る。未経験の起業は不安も悩みも課題も多いが、最後に必要なのはひと匙ほどの踏み出す勇気なのかもしれない。



成功のポイント



秋田県事業承継・
引継ぎ支援センター
サブマネージャー
加納 広明 さん

悩みに直面しても様々な支援を受けながら前向きな姿勢と強い信念を持つことが成功につながりました。

20年以上教育界に身を置き、退職を機に飲食業で起業しようとしていた露崎さんは、様々な悩みに直面しても、秋田県よろず支援拠点の支援を受けながら、解決に向かって考えていく前向きな姿勢と、「地元の新鮮な食材を使い、健康志向の高いお客様に満足いただけるスープを提供していきたい。」という強い信念があったことが成功のポイントだと思います。

守る味、広がる道

伝統の味×サプライチェーン×地域未来



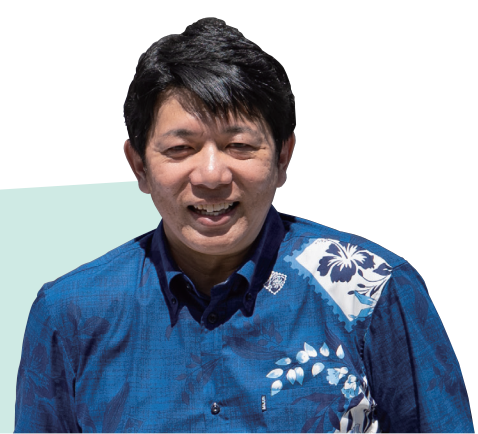
仕出し・惣菜
製造業 花ぐすく香華堂

- 創業:1971年創業
- 所在地:沖縄県那覇市田原2丁目2-3
- TEL:098-859-0522

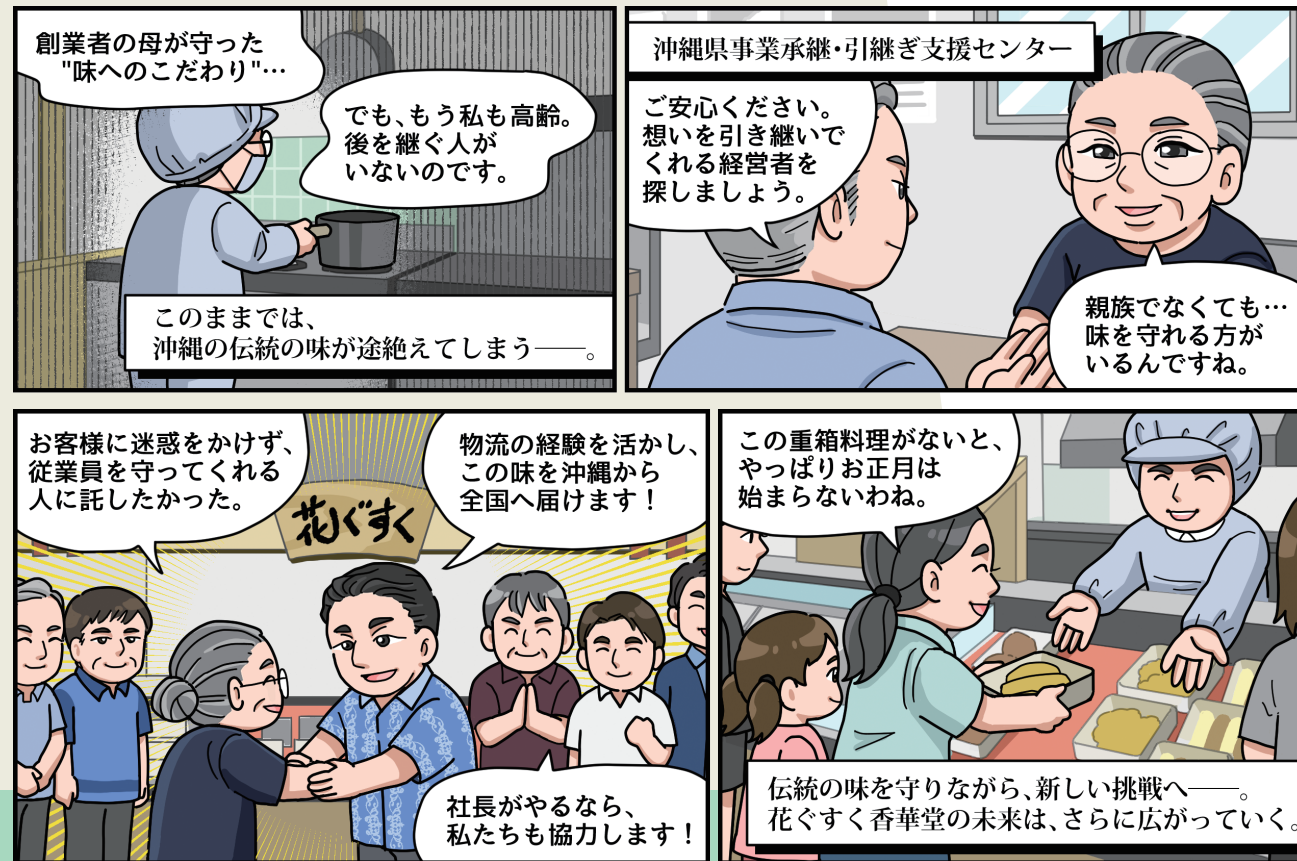
沖縄の行事には欠かせない重箱料理などの伝統料理を販売。後継者不在で廃業を考えていた。運送業や食品加工などを手掛ける「沖縄SEIWAサービス」と経営方針等が合致し承継となった。



味を守りたい
お客様も従業員も守りたい
譲渡者 花城 嘉代子さん



味は守りつつ、
全国へも展開したい
譲受者 比嘉 康祐さん



沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターの支援概要と事業承継の流れ

事業承継の流れ

前経営者が沖縄振興開発金融公庫に相談。センターを紹介される。

現経営者は惣菜や重箱事業で引継げる事業主を探していた

センターがマッチング支援を続け、沖縄SEIWAサービスを紹介

センターが専門家の招集など承継に関わる準備をサポート

センターが承継に係る融資を紹介元の沖縄振興開発金融公庫へ依頼

事業承継が完了し味を守りつつ未来へ受け継がれる

有限会社花ぐすく香華堂
前経営者、現工場長(譲渡者)

花城 嘉代子 さん

母、花城 ツル子さんが創業した花ぐすく香華堂を継承し、沖縄伝統の行事料理を家庭に届けてきた。承継後は工場長として従事し、「自分の老後も見て貰いたい」と従業員に吐露するほど比嘉社長と良い関係を築けている。

相談

沖縄振興開発金融公庫 担当者

事業承継診断を通して後継者不在を認識。自社運営の事業承継マッチングサイトの活用や引継ぎ支援センターとの連携によりマッチングを支援。コンサルティング支援について引継ぎ支援センターと連携。株式取得資金等の承継資金の融資を実行。

事業譲渡

融資・資金サポート

融資支援依頼

紹介

株式会社沖縄SEIWAサービス 代表取締役
有限会社花ぐすく香華堂 現代表取締役(譲受者)

比嘉 康祐さん

運送業の「沖縄SEIWAサービス」の代表取締役。「花ぐすく」の文字を見て以降、どうしても買いたくて、時間がある時には神社にお参りする程だった。ここまで会社に尽くしてくれた前社長には、いつか長年の苦勞に報いたい。ゆっくりして貰いたい。と考えている。

相談

沖縄県事業承継・引継ぎセンター
サブマネージャー

玉城 誠司さん

マッチング支援から専門家の招集、スケジュールリングから融資の橋渡しや複雑な提出物関係にも親身になってサポート。常に連絡が取れるようにし、不安を解消しながら最後まで伴走。承継を実現へと導いた。

転機 経営陣の高齢化、後継者問題

2世代にわたり沖縄の食卓や行事を支えてきた老舗惣菜店「花ぐすく香華堂」。食文化や生活様式と深く結びついている行事料理や、味にこだわった弁当・惣菜などを製造、販売してきた。地元デパートなどにもテナントを構え、長年地元から愛されてきたが、近年は経営陣の高齢化と後継者不在に悩んでいた。



支援 柔軟なマッチングと支援力

親族にも後継者がおらず、花城さん(前代表)は「自分の代で終わりかな」と半ば諦めていた。そんななか、沖縄振興開発金融公庫の担当者と雑談するなかで事業承継の話になり、沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター(以下センター)を紹介してもらった。連絡を受けたセンターの玉城さんはすぐに買い手の候補を探し始めた。1年ほど経て沖縄SEIWAサービスの比嘉さん(現代表)から「興味があります」と連絡があり、花城さんは直接会って「この人だ」と心を決めた。

沖縄SEIWAサービスは比嘉社長が展開する食品事業の運送部門として起業した。元々惣菜事業や行事の多い沖縄、重箱事業への関心はあったが0からは敷居が高く、既存事業を引き継ぎたいと考えていた。子供の頃から親しんだ「花ぐすく」という言葉を聞いたときに「株式を分割取得にしても買いたい!」と思った。経営権は二の次だった。

実際に花城さんに会って話をしてみると、お酒も飲まず旅行もせず、何十年もの間ひたすら会社に尽くしてきた事を知った。そんな人から出た要望が「味と雇用を守り続



けて欲しい」。頭が下がる想いだった。「会社を守る、伝統を守る、味を守るとはこういうことなんだ」と心に刻んだ。

大きかったセンターの存在。未来へ

「センターがいなかったら実現しなかった。」比嘉社長は断言する。センターの玉城さんは、株式譲渡の資金調達でも沖縄振興開発金融公庫からの融資にあたって橋渡し役を担ったし、複雑な提出書類の作成では親身になって相談にのり、常に寄り添って支援した。

「前社長は今も工場長として働いています。一生懸命なその姿を見ていると、私もこの仕事を頑張ろう!と本当に思います」と、従業員も花城さんも新しい環境を前向きに捉えている。

「今後は全国へも広げていきたい。最近では地元でも沖縄料理を意識する機会が減っていると感じている。老若男女問わず親しんでもらえるメニュー開発をしたいと想っています。」と比嘉さんは密かな夢を語る。伝統料理は味へのこだわりを大事にしながら新たな夢を乗せ、未来へと受け継がれた。



成功のポイント

沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター
エサブマネージャー
玉城 誠司さん

双方の価値観の一致や将来への展望、そしてその熱意が伝わった事がポイントでした。

譲受側の「歴史ある伝統料理を守りたい」という熱意や、将来への展望が譲渡側に響き、「この人に任せて大丈夫」という安心感につながったと思います。



事業承継・引継ぎポータルサイトでは、 様々な事業承継事例をご紹介します

第三者承継

親族内承継

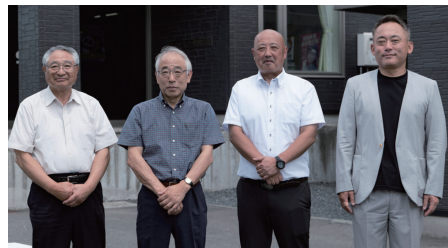
後継者人材バンク

一覧ページへ



第三者承継、親族内承継それぞれの事例をインタビュー方式で多数紹介しています。
貴社の業種や状況に近い事例をご参考ください。

異業種承継が灯す味と想いと、
未来のカタチ



2つの事業承継・引継ぎ支援
センターが連携してマッチング



地域とともに未来へ繋いだ、
親族内承継と支援の記録



後継者の熱き想いを受けて
センターと商工会が伴走支援



転勤を契機に後継者人材バンクに登録
した若手起業家への事業引継ぎを実現



後継者人材バンク、事業承継融資
制度を活用した事業引継ぎを実現



事業承継にお困りですか？
**相談
無料**

事業承継・引継ぎ支援センターには これまで15万人以上の経営者が相談！

全国の事業承継・引継ぎ支援センターには、
中小企業診断士や金融機関OBなどのプロフェッショナルが所属し、
事業承継やM&Aに関する豊富な支援経験を基に、最適な事業承継へ導きます。

お気軽に各都道府県のセンターまでご相談ください！

公的機関である「事業承継・引継ぎ支援センター」では
経験豊富な専門家が中立的な立場から秘密厳守でご相談を承ります

WEBまたは、裏面に記載の電話番号より
お問い合わせいただけます

事業承継・引継ぎポータルサイト

検索



相談までの流れ

電話、メール等
にてお問い合わせ

支援センター
からのご連絡
(日程調整)

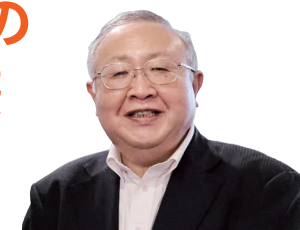
相談の実施



事業承継に関するお悩みは あなたのエリアの 事業承継・引継ぎ支援センター へ

秋田県

小規模事業・超小規模事業者への 支援体制を全国に先駆けて構築 秋田県事業承継・引継ぎ支援センター



秋田県の中小企業はおよそ2万9000社(2021年時点)。そのうち
86%は従業員が少ない「小規模事業者」である。こうした小規模事業
者は特に後継者が不在な状況に置かれている。また、秋田県は人口
減少、高齢化が全国に先んじて進んでおり、また、社長の平均年齢、後
継者不在率も全国一高く、事業承継を取り巻く環境は極めて厳しい。

【オール秋田で支援する体制を全国に先駆けて構築してきた】

こうした状況下、秋田県では行政、商工団体、金融機関等が構成員
となる「秋田県中小企業支援ネットワーク」を2012年10月に設置し、
県が事務局となって円滑な事業承継に向けて関係機関が連携しなが
らオール秋田で支援する体制を、全国に先駆けて構築してきた。高
齢の小規模事業者は、「あきらめ型」の廃業が多く見られるが、小規



模事業者であってもサブ
プライチェーンの維持、雇
用の維持、伝統技術の
継承、地域住民・商店街
への影響など地域経済
に果たす役割は大きい。

経営者は事業承継に対し重要と認識しつつも喫緊の課題
ではないと先送りするケースが多い。家族や従業員、取引
先のためにも、いつかは決断が必要。できれば40代に10
年後、20年後の会社の将来、事業承継について真剣に考
えてもらいたい。早めの意識・取り組みが将来の事業承継
成功のカギと語る、秋田県事業承継・引継ぎ支援セン
ター総括責任者の河田 匡人さん

このため、秋田県事業承継・引継ぎ支援センターでは、起業独
立を目指す人・U・Iターンで秋田に戻り起業を目指す人と後継者
不在事業主をマッチングさせる「後継者人材バンク」を2015年3月
に全国で4番目に開設、スモールM&Aにも力を入れて取り組んで
いる。また、親族内承継、従業員承継の場合においても、「事業承
継計画書の作成」を支援。将来に向けて事業承継に関する準備、
予備知識を身につけておきたいという相談にも応じている。事業
承継の悩みは様々。是非、センターを有効活用、気軽に相談して
もらいたい。

沖縄県

承継問題を放置せず、将来を見据えて 計画的に進めるための頼れる窓口 沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター



沖縄県内では、2017年時点で「後継者あり」とした企業数が460
社(構成比15.7%)に対し、後継者不在の企業数が2,470社(構成
比84.3%)という厳しい状況が示されており、後継者不在率は全国
でも最も高い水準にありました。そのため、当センターは「早期の
承継」「承継プランの策定」「承継後の継続・発展」をキーファクター
として支援を展開しています。

【1～5人規模の小規模事業者が多くきめ細かい支援ニーズ】

沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターの強みは、県・市町村・商工
会議所・商工会・金融機関・専門家等と連携をとる「事業承継ネット
ワーク」が中核的な存在である点です。また、承継計画策定の支援



や、後継者を志す人材の
紹介(後継者人材バン
ク制度)なども併せて
展開しており、第三者承
継を含む「出口」の選択
肢を広げています。

「事業承継は、経営を行う上で1度あるかないかという話。
とっつきにくいけど、経営者として避けて通ることはできません。
まずは、センターへご相談ください」と語る、沖縄県事業
承継・引継ぎ支援センター総括責任者の佐藤 英彦さん

県内のユニークな特性として、1～5人規模の小規模事業者が
多く、売上3千万円以下の譲渡企業が約37%にのぼるという全
国データも背景に、きめ細かい支援ニーズを捉えています。

沖縄県で事業継続を図る経営者・後継者候補者にとって、当
センターは「承継問題を放置せず、将来を見据えて計画的に進
めるための頼れる窓口」です。歴史ある地域企業を継ぐにあたっ
て生じる課題(資金・税制・人材・取引先・地域特性)にワンストッ
プで応えうる支援体制が整っていますので、「誰にも相談できず
に先送りしている」のであれば、まずは当センターに相談を検討
されることをおすすめします。

全国の事業承継・引継ぎ支援センター一覧



廃業を考えていたが、事業承継という選択肢もあると知人の経営者から聞いた。

子どもに後を引き継がせたいが、どうやって準備すればよいのか…

まだ先のことだが、そろそろ事業承継について何をすべきか知っておきたい。

都道府県	電話番号	所在地
北海道	011-222-3111	札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター6階
青森県	017-723-1040	青森市新町2-4-1 青森県共同ビル7階
岩手県	019-601-5079	盛岡市清水町14-17 中圭ビル
宮城県	022-722-3884	仙台市青葉区二日町12-30 日本生命勾当台西ビル8階
秋田県	018-883-3551	秋田市山王2-1-40 田口ビル5階
山形県	023-647-0663	山形市城南町1-1-1 霞城セントラル13階
福島県	024-954-4163	郡山市清水台1-3-8 郡山商工会議所会館403号
茨城県	029-284-1601	水戸市桜川1-1-25 大同生命水戸ビル9階 903
栃木県	028-612-4338	宇都宮市中央3-1-4 栃木県産業会館7階
群馬県	027-265-5040	前橋市亀里町884-1 群馬産業技術センター内
埼玉県	048-711-6326	さいたま市浦和区高砂3-17-15 さいたま商工会議所会館4階
千葉県	043-305-5272	千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館12階
東京都	03-3283-7555	千代田区丸の内3-2-2 丸の内二重橋ビル6階
東京都多摩地域	042-595-9510	立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12階 立川商工会議所会館内
神奈川県	045-633-5061	横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル12階
新潟県	025-246-0080	新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル19階
長野県	026-219-3825	長野市若里1-18-1 長野県工業技術総合センター3階
山梨県	055-243-1830	甲府市大津町2192-8 アイメッセ山梨3階
静岡県	054-275-1881	静岡市葵区紺屋町11-4 太陽生命静岡ビル7階
愛知県	052-228-7117	名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル6階
岐阜県	058-214-2940	岐阜市神田町2-2 岐阜商工会議所3階
三重県	059-253-3154	津市栄町1-891 三重県合同ビル5階
富山県	076-444-5625	富山市高田527 情報ビル2階
石川県	076-256-1031	金沢市鞍月2-20 石川県地場産業振興センター新館2階
福井県	0776-33-8279	福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル8階
滋賀県	077-511-1505	大津市打出浜2-1 コラボしが21 9階
京都府	075-353-7120	京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター7階 京都商工会議所内
奈良県	0742-53-5888	奈良市西大寺南町8-33 奈良商工会議所3階
大阪府	06-6944-6257	大阪市中央区本町橋2-8
兵庫県	078-303-2299	神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館8階
和歌山県	073-499-5221	和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所5階
鳥取県	0857-20-0072	鳥取市本町1-101
島根県	0852-33-7501	松江市母衣町55-4 松江商工会議所ビル6階
岡山県	086-286-9708	岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山
広島県	082-555-9993	広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル7階
山口県	083-902-6977	山口市小郡令和1-1-1 山口市産業交流拠点施設4階
徳島県	088-679-1400	徳島市南末広町5-8-8 経済産業会館 (KIZUNAプラザ) 1階
香川県	087-802-3033	高松市番町2-2-2 高松商工会議所会館1階
愛媛県	089-948-8511	松山市久米窪田町487-2 テクノプラザ愛媛別館1階
高知県	088-802-6002	高知市本町4-1-32 こうち勤労センター4階
福岡県	092-441-6922	福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所ビル8階
佐賀県	0952-27-7071	佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル4階・6階
長崎県	095-895-7080	長崎市桜町4-1 長崎商工会館1階
熊本県	096-311-5030	熊本市中央区横紺屋町10 熊本商工会議所5階
大分県	097-585-5010	大分市金池町3-1-64 大分県中小企業会館5階
宮崎県	0985-72-5151	宮崎市錦町1-10 KITENビル7階
鹿児島県	099-225-9550	鹿児島市東千石町1-38 鹿児島商工会議所ビル4階
沖縄県	098-941-1690	那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル5階

